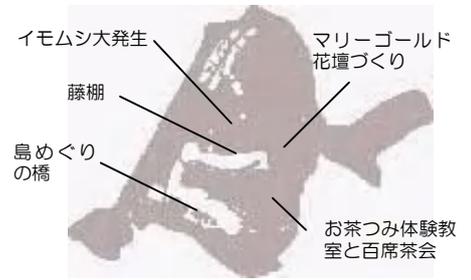


2003年 5月号 (キショウブ咲く目洗い池号)

古河総合公園だより

発行日：2003年5月30日 編集：古河総合公園パークマスター 発行者：(財)古河市民公社
住所：〒306-0041 古河市鴻巣399-1 古河総合公園管理棟 E-mail：iwahori@city.koga.ibaraki.jp
古河総合公園だよりバックナンバー http://www.city.koga.ibaraki.jp/park/dayori/index.htm



5月10日(土)

茶畑・民家園の周囲

初夏の定番！お茶つみ体験教室と百席茶会



参加 470 人 (一般参加 260 人、茶席のみ参加 210 人)。



初めての試み「お茶あてコーナー」。緑茶、ほうじ茶、玄米茶などを飲み比べ。

趣向をこらした茶席が登場。炉を組んで、お湯を沸かした演出。



和舟に乗って、御所沼の風景を見ながらの一杯。

参加者のご感想

- ・お茶が出来るまで、大変とわかりました (総和・女性)
- ・お茶の種類がこんなにあるとは思わなかったです (市内・小学生)
- ・天ぷら、好き嫌いの多い子供でさえも喜んで食べていました (市内・女性)
- ・葉っぱが少し苦かったけど、おいしかった (市内・小学生)
- ・種類のお茶が、一度目二度目の味が異なるのにはおどろきました (宇都宮・女性)
- ・お茶の飲み方など、初めて知ったことが多かった (市内・女性)
- ・お茶娘になりたいかなぁ (市内・女性)



5月30日(金)

園路入り口

今年もありがとう マリーゴールド花壇づくり



今年で三年目。夏の古河総合公園の風景づくりに欠かせない恒例企画。多くの人を楽しませてくれます。
主催/古河くらしの会

2003年度 フリーマーケット開催予定日

2003年	
7月	6日(日)
8月	3日(日)
9月	7日(日)
10月	5日(日)
11月	9日(日)
12月	7日(日)

2004年	
1月	11日(日)
2月	1日(日)
3月	7日(日)

※参加問い合わせ先
0280-62-2738
主催/リサイクル友好会

◆ 古河総合公園 花ファイル NO.27 ◆

● シラン ●

[科名] ラン科

[草丈] 30~50cm

[花] ピンク

[花期] 5月中旬

栽培の難しいラン科の仲間の中では育てやすいラン。

地中にある鱗状の茎は、加工して、白及(ビャクキュウ)と呼ばれる生薬になる。止血、消炎、排膿薬として白及散など各種漢方薬に配合されている。また、白及は、粘液質であるので、糊(のり)としても用いられる。





5月中旬

イモムシ大発生 その正体は・・・

富士見塚



富士見塚の頂上付近に、大きなイモムシが大発生！「刺されないの？」「駆除して〜」など、多数の来園者の方が、心配顔で、事務所を訪れました。



正体は、サトキマダラヒカゲというチョウの幼虫。ササ類が食草。富士見塚では、今春、オカメザサを刈り込んだため、柔らかで新鮮な葉が、生い茂ったため、大発生したと考えられる。毒は無いので、さわっても大丈夫！・・・ということで、駆除しませんでした。



サトキマダラヒカゲ（成虫）
成虫の食べ物は、クヌギなどの樹液、くさりかけのくだもの。
7～8月にかけて、雑木林で、普通に見かけることができる。
ジャノメチョウ科。

公園逍遙吟区・桃まつり俳句大会 選考結果

公園逍遙吟区（応募平成14年5月～平成15年2月）

秀作

夕暮れの名残りの坂に蝉しぐれ 松井洋、古河市
軒深く秋灯くらき民家かな 中村千代子、古河市
曲り屋の屋根の重たき菜種梅雨
梅は実にかすかに揺れる自在鍵

（上記2句）阿久津勝利、栃木県宇都宮市

佳作

サワサワと木立の風が涼を呼ぶ
じょんがらの三味の音招く菊祭り
愛犬が集う広場に春の音

（以上）松井洋、古河市

蒲の穂や神話の兎浮かびくる
青葙のじつと見ている野点かな
花びらのような風なりポピー畑
卵塔の並びてまろし樗落葉
郭公の来啼く立木や公方塚
御所沼の波の静かに鳴あそぶ
山眠る富士も筑波も筑山も
御所沼の魚静めて春を待つ
小春日や公方館の丘に立ち
一服は何時もこの椅子夕薄暑
久々の空の広さやつばくらめ

（以上）長塚なか、古河市
中村千代子、古河市
狐塚長助、古河市

（以上）新井利昭、総和町
野城島、埼玉県南埼玉郡

川舟の棹のしなりや暮早し 阿久津勝利、栃木県宇都宮市
探梅や箒目正す文化財 青柳秀夫、埼玉県下都賀郡

（応募総数 71 句）



5月下旬

島めぐりしてみませんか

御所沼南側の島々



沼に浮かぶ小島のひとつに橋をかけました。園内で伐採した木や竹を使った、シルバー作業員の手作りの橋です。湿性の植物が楽しめる小さなお散歩コースです。



5月下旬

雪華園の近く

来年は見れそう 沼に映る藤の花



冬に作った棚に、順調に、藤のツルがからみはじめました。来年には、沼に垂れる藤の花が楽しめそう。こちらもシルバー作業員の手作り。

桃まつり俳句大会（応募平成15年3月～4月）

特選

嫁かぬ娘の白髪一筋桃の花 岩元昭紀、埼玉県春日部市
車椅子押すも押さるも桃の花 鈴木信行、日立市
走り根に桃の花散り公方墓所 奥田幸子、古河市

佳作

佐保姫のほほ染めにけり古河の里 松野茂、神奈川県川崎市
春陰の孔雀気嫌を損ねおり 武者美江子、千葉県野田市
春霞公方の墓の杉木立 稲葉安次、古河市
笹鳴くや水面に下るくひな坂
小授鶏の隠れ歩きやお茶畑
木の芽風帯目すがし公方跡

（以上）中村千代子、古河市
奥田幸子、古河市

奨励賞

もものはなピンクとしろできれいだな 須藤聡美、栃木県岩舟町
（応募総数 85 句）

今回の選考は、平成16年の2月末日。夏、秋、冬の総合公園の景色を十七文字にたくして下さい。ちびっこのチャレンジ、まっています！

選考協力／古河市俳句協会